

10月 10-16日

列王第一 19-20章

33番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「エホバに目を向けて安心感を得る」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王一 19:19-21 それでエリヤはそこから出発し、シャファトの子エリシャを見つけた。エリシャは12対の牛を先に行かせて耕しており、12対目の牛に付いていた。エリヤは彼の所に行き、**自分の職服を彼にまとわせた。** 20 エリシャは雄牛を残してエリヤの後を追い掛け、こう言った。「どうか父と母に別れの口づけをさせてください。それからあなたに付いていきます」。エリヤは言った。「行ってきなさい。止めるつもりはありません」。21 **エリシャは戻って1対の雄牛を取ってほふり(*殺し/d 犠牲にし), 牛の農耕具を燃やしてその肉を煮, 人々に与えた。** 人々はそれを食べた。その後、エリシャは立ってエリヤに付いていき、仕え始めた。

新たな奉仕の割り当てを受ける時、この記述はどのように助けになるか。

(塔 97 11/1 31 ページ 2 節) 今日でも、**神の僕の多くは同じような自己犠牲の精神を示しています。** その中には、**遠い地域で良いたよりを宣べ伝え**、あるいは**ベテル家族の成員として奉仕するため**、**自分の「畠」つまり自分の暮らしのものとを後にする人もいます。** ほかにも、**協会の建設プロジェクトに参加するため外国に赴いた人もいます。** **立場が低いとみなされるような仕事を受け入れてきた人も大勢います。** しかし、**エホバに奴隸として仕える人はみな、重要な仕事をしているのです。** **エホバは、自ら進んで仕える人すべてを高く評価し**、その**自己犠牲の精神を祝福**されます。—マルコ 10:29, 30
イエスは言った。「はつきり言いますが、私のため、また**良い知らせのために**、**家、兄弟、姉妹、母親、父親、子供**、あるいは**畠に別れを告げた人は皆**、30 今この時期に***百倍を**、**家、兄弟、姉妹、母親、子供、畠を迫害と共に得て**、**新しい体制で永遠の命を得ます。**

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

アハブが(20:34)シリアの首都ダマスカスに市場を設けるという営利目的でベン・ハダドを釈放したことに対して、一人の預言者の話から、(20:40)自らが当然の罰を受けるべきであることをアハブ自身が結論した—例えの効果性が記録。私たちも、宣教で聴き手に熟考させて納得していただく優れた方法として、シンプルな例えの活用を是非心掛けていきたい、と励まされた。

聖書朗読（4分）王一 19:1-14（教励 第12課）

野外奉仕に励む

再訪問の動画（5分）討議。「[再訪問: 聖書（ヨブ 26:7）](#)」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。

この前は聖書には暮しに役立つことが書かれているとお話しした。(そうでしたね) 今日ちょっとお尋ねしたかったのだが、ご主人は聖書ってどれくらい前の本かお聞きになったことがありますか？(知らない) 3500年くらい前に書き始められた。(へーそうなんですか。) 流石にそれだけ古いと、ちょっと興味が沸いたとしても、書いていることを信用していいのかなって、不安にならないか？(そう言われるとそうですね。) この1分ちょっとのビデオ見ていただけますか？聖書が科学的に正確かどうか、説明している。「聖書が書かれていた頃、多くの人は地球の形について間違った考えを持っていた。…一方BC1473年頃、モーセは地球が空間に浮いていると書いた。BC732年頃には、預言者イザヤは地球が丸い、球体だと書いた。聖書に書かれたことは当時の一般の考えとは全く違っていた。イザヤの時代から約200年後によくギリシャの哲学者ピタゴラスが地球は球体だと主張したとされている。またモーセの時代から3000年以上経って初めて、アイザック・ニュートンなどの科学者が、地球は空間に浮いていると考えるようになった。」ビデオに出ていた聖書の言葉、良かったらもう一度見ていただけますか？[ヨブ 26:7] 神は…地球を空間に浮かせている。一今では常識だが、この言葉が書かれた時代のことを考えると、凄いと思わないか？(昔の入って面白いことを信じていましたよね。) 本当ですね。でもそういう時代に聖書は科学的に正確なことを言っていた。だから信用できる。(ふーん、なるほど。)

※ 聖書って人生の深い疑問にも答えているんです。例えばどんな疑問か、この3ページに幾つか書かれているので、また今度そこからお話ししてください。

※「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子にどのようにつなげられますか？

(P12)L03-4. 聖書に書かれていることは科学と合っているのビデオや、(P14)L03-見てみようの「聖書は科学と矛盾していますか」の記事を紹介

再訪問（3分）[話し合いのサンプル](#)の話題に沿って話す。（[教励 第18課](#)）

聖書研究（5分）[暮 レッスン07 副見出し7と「こう言う人もいる」](#)（[教励 第7課](#)）

クリスチャンとして生活する

145番の歌

「積極的な見方を保つ」（15分）討議。[動画](#)を再生し、次の質問をする。①積極的な見方を保つ上で、聖書のどんな原則が役立つか。②エホバはエリヤをどのように力づけたか。③エホバは私たちをどのように励まし、世話をするか。

①積極的な見方を保つ上で、聖書のどんな原則が役立つか。

(詩編 144:15 エホバを神とする民は幸せ、テモ二 3:1)

・[詩編 16:11](#) あなたは命の道を私に知らせてくださる。あなたの前にはあふれる喜びがある。あなたの右には永遠の幸せがある
⇒祝福を数える

・[格 4:25](#) あなたの目は真っすぐ前を見るべきである。前方を真っすぐ見つめるのだ

⇒将来の希望に目を留め、物事の全体を見る

・[伝道 4:6](#) 両手いっぱいに仕事を持つのは風を追うようなことだ。それよりも、片手は休息で満たす方がよい

⇒十分の休息を取る（テレビ/インターネット見過ぎない）

②（聖書中の記述を読む）エホバはエリヤをどのように力づけたか。

ヤコブ 5:17 エリヤは、私たちと同じようにいろいろな感情を持つ人でしたが、雨が降らないようにと熱烈に祈ったところ、その地域には3年半の間、雨が降りませんでした。

王一 19:3,4 エリヤは怖くなり、身を守るために立ち上がって逃げた。ユダの町ベエル・シェバに来て、従者をそこに残した。⁴ そして荒野に入つて1日の道のりを行ひ、エニシダの木の下に来てそこに座り、死ぬことを願つて言った。「もう十分です！ エホバ、どうぞ私の命を取り去つてください。私は父祖たちに勝つていません」。 (落胆の問題) 王一 19:14 エリヤは言った。「私は、大軍を率いる神エホバにひたすら熱心に仕えてきました。イスラエルの民があなたの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺したため、**私だけが残りました**。今、彼らは私の命を狙つています」。

王一 19:15-18 の3つの事柄

- (1)エホバは問題を解決される(エヒウに油が注がれる)
 - (2)助けを与えると約束(エリシャによって)
 - (3)一人ではないことを思い起こさせた(エリヤが。少なくとも他に7000人が居た)
- ③エホバは私たちをどのように励まし、世話をするか。

ペテ一 5:6-7 神の力強い手の下で謙遜になってください。そうすれば、神はやがて皆さんを重んじてくださいます。⁷ そして、心配事を全て神に委ねましょう。神は優しく気遣つてくださるからです。(私たちが落胆している時に世話を助けてください)

ジェフリー・ジャクソン兄弟の落胆や失意の経験：

- ・宣教者の時に腸チフスで死にそうになった
- ・最初の妻ジェニーが10年間の乳がんとの闘いの間の看護
- ・黒色腫(癌)によって左目の視力を失い
- ・ジェニーを含め親しい友を亡くした

短い間に次から次へと問題が生じます。宣教者の時、孤独感を味わった。

勿論挫折感は自分自身の間違えや弱さ、また出来ることとしたい事とのバランスを取ろうとすることによって生じる。こうした事柄全てが落胆の原因となった。

皆さんの多くがさらに難しい挑戦を抱えておられることを良く理解している。

しかし問題に実際に飲み込まれそうになる時、何が助けになるか？

ペテ一 5:9-10 摺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています。¹⁰ 皆さんのが少しの間苦しんだ後、惜しみない親切に満ちる神は、皆さんの訓練を終えます。永遠の栄光を与えるためにキリストを通して招いてくださった神が、皆さんをしっかりした人、強い人、揺らぐことのない人にしてくださるのです。に慰めを見い出せる。自分が一人ではないことを知るのは素晴らしい励ましです。

兄弟姉妹の多くは同様の問題に直面しており、この問題に上手く対処してこられた。

比ゆ的な7000人の仲間に囲まれているかのよう。

しかし私たちもエリアのように忠実な人々が居ることを忘れることがあるかもしれません。

それで何が必要？彼らのことを知るようにする。質問する。励まされる答えに驚くことでしょう。励みと力を与える新たな源を発見するかもしれない。

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン22

閉会の言葉（3分）

57番の歌と祈り

神の言葉の宝

エホバに目を向けて安心感を得る

エリヤは身の危険を感じ、怖くなって逃げた。 (王一 19:3, 4。塔研 19.06 15 ページ 5 節)

エホバは、エリヤが必要としていた助けを与え、ご自分の驚異的な力を見せた。 (王一 19:5-7, 11, 12。倣 103 ページ 13 節, 106 ページ 21 節)

エホバはエリヤに任務を託した。 (王一 19:15-18。倣 106 ページ 22 節)



エホバは聖書を通して、今でも私たちに語り掛けている。聖書を読むと、①エホバが私たちを心から気遣ってくださっていることや、②エホバのために働くという素晴らしい機会を与えてくださっていることを思い起こせる。 (コリー 15:58 それで、私の愛する兄弟たち、しっかり立って、動じることなく、主の活動をいつも活発に(*たくさん)行ってください。皆さん気が知っているように、主のために働くことは無駄ではないのです。コロ 3:23 何を置いても、人のためではなくエホバ*のためにするように、自分の全てを尽くして行いましょう)

^ (王一 19:3, 4) エリヤは怖くなり、身を守るために立ち上がって逃げた。ユダの町ベエル・シェバに来て、従者をそこに残した。4 そして荒野に入って1日の道のりを行き、エニシダの木の下に来てそこに座り、死ぬことを願って言った。「もう十分です！ エホバ、どうぞ私の命を取り去ってください。私は父祖たちに勝っていません」。